

ブラジルで透析クリニック開業 —南米透析装置事業の飛躍的拡大に向けて—

株式会社G S I クレオス（東京都千代田区／代表取締役 社長執行役員 吉永直明 以下当社）は、ブラジルにおいて、当社が出資する Palalua-GSI Holding Participações S.A.※（以下 PGHP）を通じ、サンパウロ市郊外サントスにクリニック Fenix Praiamar-Serviços Médicos Ltda（以下 FS）を設立、2月5日に開業いたしました。

また、サンパウロ市東部のタトゥアペにもクリニック Fenix Anália Franco-Serviços Médicos Ltda（以下 FZ）を設立し、3月に開業する予定です。透析クリニック経営へ参画することにより、南米における透析装置販売事業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

※PGHP: 2019年10月15日に当社の米州の現地法人であるG S I ホールディング社（アメリカ）ならびにG S I ブラジル社を通じて、病院経営の豊富な実績を有する現地企業 Palalua Participações Ltda と共同で設立。



【開業の背景】

当社は米国、中国、日本に次ぐ透析患者数、約14万人を有するブラジルの人工透析装置市場に、2015年に参入しました。当初より一貫して東レ・メディカル株式会社製装置の輸入販売を行っております。現在は、関連部材の取引を加えるとともに南米全体に販路を広げ、業容拡大に取り組んでおります（透析装置の販売実績：約1,300台）。

（写真：エントランスサイン）

【両クリニックの特長】

今回開業するFS、FZの両クリニックはブラジル国内においては最先端となる「On-Line HDF 透析装置」を導入します。当社の旗艦クリニックと位置付け、ショールーム的な機能を持たせることで、ブラジル内外の医療従事者に広く紹介し、当社取り扱いの最先端透析装置や関連部材を南米全体に普及させていく計画です。

また、治療についてはブラジルの国民健康保険制度(SUS)ではなく、主に民間医療保険適用の患者を主体に運営することで収益性を高めてまいります。



（写真：透析ルーム）

【Fenix-Praiamar-Serviços Médicos Ltda (FS)の概要】

所在地	Rua Guaiaó, 66, Tower 1, 19th floor, rooms 01 & 08 & 16, Aparecida district, São Paulo		
資本金	4,983,000 レアル	開業日	2021年2月5日
規模	26床	予定患者数	約90名

【Fenix-Anália Franco-Serviços Médicos Ltda (FZ)の概要】

所在地	Rua Cantagalo, 900, Tatuapé, São Paulo		
資本金	3,774,000 レアル	開業予定日	2021年3月
規模	29床	予定患者数	約100名

以上

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Tel 03-5211-1802